



先ほど室長が8ページの説明で、ご説明をいたしました。市民会議はですね、無作為で抽出した市民ですね、15歳以上の方3,500人の方に郵送でご案内をして、場所について検討する会議を開きたいということで、その中から参加を希望された方が75名いらっしゃったということです。で、4回会議をいたしまして、メリット、デメリットを、まず1回目で、双方の候補地のメリット、デメリットを考えました。傍聴されていたのでご存知だとは思いますが、そのメリットデメリットを出す中で、各班ごとに分類をしていきました。例えば、どちらかはアクセスがいいのではないかとというようなものが出てくれば、アクセスっていう分類ができてきたわけですね。そのグループごとに分類したものを全部集約して、分類とその意見を次の2回目に全部出しました。資料として出して、それをまた皆さんで確認して、メリット、デメリットを追加して、今度はそのデメリットの方に対する解決策などを考えてきたというようなのが市民会議でありまして、最終的にその分類10項目については、意見を出された皆さんが出した分類です。その10項目について、優先順位をつけてもらったわけですね。5つ、順位をつけて書いてくださいっていうのを、最後の4回目に、ヒアリングシートという形で書いてもらいましたね。それは5番目まで順位をつけて出してもらったということです。これは8ページの上のですね、ちょっと見づらくてすみませんが、表の下のグラフのようになってるんですね。これで順番をつけてもらったので、最も重要だと考えられたのが、アクセスだということですね。アクセス、2番目は活性化、3番目が安全、次、周辺環境、そして駐車場、次が費用、次、他施設との連携、土地、そして文化・歴史、防災というような順番になったということですね。ここまでは大丈夫ですね。この分類で見ますと、この一番上の表ですけれども、そうすると、1番はアクセスですね。アクセスについて見ますと、明らかに駅前が良いと思う人が42人で多かったんですね。2番目の活性化については、みなさんが重視した活性化について見ますと、明らかに駅前が良いと思う人が27人と、これも多かったんですね。3番目が安全ですね。安全はどちらかと言えば駅前が良いと思うのが25人だったと。これが一番多いですね。次が周辺環境、これもどちらかといえば駅前が良いと思う人が21人だったんですね。で、次、駐車場についてはどちらかといえば病院側が良いと思うというのが24人で多かったということです。その次もあるわけですよ。費用ですね。費用についてはどちらでも良いというのが一番多かった。27人ですね。施設もね、これもどちらでも良いというのが一番多かったということです。次、土地についてはどちらかと言えば病院側が良いと思う人が多かった。文化・歴史については、どちらでも良いっていうのが多かったです。防災についてもどちらでも良いというのが一番だったということです。これで上から五つというのは皆さんから五つ順位をつけてもらったので、五つについて示しているというものですけれども、文化・歴史をないがしろにしているわけではなくて、この市民会議に参加された方は、何が立地する場所の重要なポイントかっていうのを出した中でこれにした、つまり文化・歴史も重要だというふうに考えたから文化・歴史という分類項目ができてるわけですね。ですんでその分類の中で、文化・歴史を我々が捨てたっていうわけじゃないです。上から五つを見るとこうだと、上から五つじゃなくて全部見ても、ご覧になればお分かりだと思いますが、上から五つを見ると、駅の方が多いというふうに見えるんじゃないかということで、市としては、駅前を候補地としたということです。それについては

先ほど、さらっとご説明したのでわかりづらかったかもしれませんが、8 ページの中でご説明したということでございます。以上でよろしいでしょうか。

菅野部長

先ほど、多数決はしないっていうのは、アンケートとしてはどうかというような意見もありました。市としてはアンケートをとって、どっちが多いっていうことで決めるのではなくて、今ご説明したような市民会議を開いて、二つの候補地について出席した方々に対話をしていただいて、候補地について一つ一つ、メリット、デメリットというのを探っていただいて、その結果を受けて判断したいということで申し上げたことでございます。実際に、市民会議ではどちらが良いっていう多数決をとったわけではなくて、ヒアリングシートにそれぞれ先ほど説明したように記入していただいて、それを市がまとめた結果ということですので、10 項目に分けて出席者の方々にどちらが良いか、どちらでも良いを併せて判断していただいたものです。結局ご本人たちもどちらに決めたっていうことではなく、項目ごとに判断していただいたということになりますので、単に多数決で決めたということではないというふうに理解しております。

高橋次長

補足ですが、どちらでも良いというのは、昨日の説明会でもあったと思うんですが、どちらに建っても良いものができるという意味でとらえています。

質問者 2

今、各 10 項目について、一番人数の多い活性化については、27 人明らかに駅前が良い、アクセスは 42 人、どちらかと言えば駅前というのについては、周辺環境で 21 人、安全で 25 人、そういうカウントの方をしていくと、どちらかと言えば駅のほうが良いというのは 4 項目が該当します。で、どちらかと言えば病院側が良いっていうのは、2 項目しかなくて、優位性は駅前のほうにあるように見えます。ただ、2 番目の文化・歴史というものについて、どちらでも良いという 30 人を除いて、駅前が良い人は 8 人、病院側のほうが良いっていう人は 27 人です。同じように数えていくと、他施設との連携というので行くと、病院側のほうが良いっていう人が 21 人で、駅前のほうが 18 人。周辺環境については、これは一番というんですかね、人数でいけば 31 人なんですけども、21 人というのが一番多いので、これは駅前だと思います。で、そうやってカウントしていくとですね、費用というのがどちらでも良いというように先ほど説明がありましたけども、病院側のほうが良いという人が 21 人なんです。で、駅前のほうが 16 人。で、これ費用についてどっちでも良いよっていう、どっちでも良いものが確かにできるかもしれないけども、安上がりなのは病院のほうじゃないのかという考え方にはならないのかなど。この表の評価の仕方の部分で先ほど説明があった内容と自分が考える内容でちょっと隔たりがあったので、その部分についてこれが統計的に正しいものなのか、どういうものなのかというのを教えてほしいです。

菅野部長

統計的にどうかと言われましたけれども、例えばですね、先ほど費用がやっぱり安い方がいいというのは、どなたもそうだと思います。ですけれども、参加者の方々はどのぐらい事業にかかるかという、駅前のほうが 1.2 億円多くかかるといった情報をちゃんと得て判断した上で、このくらいの費用であれば、どちらにしても構わないという判断をしたために、特にこの項目を重く見なくてもいいという判断をされたとい

うこととなりますし、文化と歴史というのは皆さん大切にしなければならないという考えはあるでしょうけれども、この候補地として比較する上で、どちらも賢治ゆかりの地じゃないかと、そうすると差はない、重点化することはないというふうに判断されたということです。私達はこの重要視した項目に視点を置いて判断したということもあります。

質問者 3

これまで新花巻図書館の整備にいくらか関わってきて、甚だ疑問に思っていることがございます。それは何かと申しますと、先ほど市民会議の中で駅前に図書館を建てるということの理由付けとして、いわゆる活性化、アクセスは当然 JR の駅がありますのでいいことには決まっているわけです。この活性化の起爆剤として、果たして新花巻図書館がなり得るのかという疑問がまだまだございます。特に駅にしたならばデパートとか商業施設、そういったものを誘致するなり立地させるという考え方ならばわかるんですが、文教施設を持って行って賑わいを創生するという考え方はちょっと無理があるんじゃないかなと思うんです。だからその辺の、いわゆる駅前に新花巻図書館を建設することの、なんていうかな、理由といいますか、市民の皆さんがそっちが多いということで判断されているようなんですが、その辺お聞きしたいなと思います。活性化の理由付け。

菅野部長

活性化ということでは、花巻市の駅前に商業施設というのは誘致できないのではないのでしょうか。前も市のほうでですね、サウンディング調査ということをやったことがあるんですけども、花巻駅前に商業施設を建てるというのは、難しい。なおかつ、市がですね、商業施設を建てて、どこかを誘致するというのもですね、他市の事例を見るととても難しい。将来的に、これがずっと儲かっていけるのかというのは、すごく大きな疑問があるところです。そのうえで、図書館ができて、沢山の人の来ていただければ、駅前に人の流れができて、近くのお店の方にもいくらか潤いを共有できるというように考えます。花巻の場合は、こういった公共施設、いろんな目的で来ていただけるという施設を建てるのが一番だと思っています。この図書館を駅前に建てるというのは、他市の事例でも多く見られるところでございます。

質問者 4

建設用地のことじゃなくて、そちらのほうは大体落ち着いてきたなと思ってますので、それ以外のことでお話しします。5 ページのところですけどね、広い分野の収集の中に入ってるかどうかちょっと確かめたいんですが、これから図書館はいわゆる国の内外を通じまして、時事問題とか民族問題なんていうのをどんどんどんどん、資料を充実していく時代になっているんじゃないかなというふうに思うんです。そういう意味で、そういった国の内外にですね、そういった問題の、政治問題、民族問題なんかに関する資料なんていうのは、この 1 から 12 の中のどこかに入っているといいなというように思います。読み取れないということが一つあります。

もう一つは、私は石鳥谷町でございますので、石鳥谷町の姉妹都市、アメリカのバーモント州のラットランドというのがありますが、ラットランドの図書館についての新聞があったんですね。それを見ましてね、ラットランドの図書館、すごくアメリカだと思ったのは、地域住民のですね、表現力の育成に貢献できる施設を活用するというのがあったんですが、これはすごいな、日本も 40 代あたりまでの人はどんど

ん表現力がついておりますんで、さらに伸ばすという意味で、例えば読書会ってね、一つの本、何かの本を聞いて、関心のある人が10人でも20人でも集まって、いろんな感想を發表し合うと。そして、そのときに、その場所に専門の先生とかね。お呼びしながら、20人でも30人でも集まって、市民が表現、感想文を言い合うというふうなことはね、先ほどの、ラットランドの図書館にありますので、これはこれからの図書館にあってほしいな、県内にはまずないと思いますので、ぜひ花巻図書館にそういった機能を持たせた図書館をぜひつくってほしいなというふうに思います。この中に入ってるんですよ。よろしくお願いします。

梅原室長

多文化の部分の資料については、多文化資料のところに国際交流的な資料などは入れたいと思っていますし、専門書については今の図書館ではあまり多くないので、専門書を増やして蔵書構成を見直していきたいということは考えてます。また、ラットランドの図書館の取り組みは、市の姉妹都市でホットスプリングスもありますが、そちらの図書館の職員の方が去年花巻にいらっしゃって、いろいろお話を聞いて、ホットスプリングでの取り組みというのも、とても良い取り組みをされていたので、そういったことも参考にしていきたいと思っていますし、読書会、ビブリオバトルみたいなことは今の花巻図書館もやっているのですが最近やってないですね。新しい図書館には多目的スペースなど、広いスペース等も設けますので、そういった企画の事業ももっとできるんじゃないかなと思っています。読書会とか、皆さんが読んだ本について紹介するとか、紹介する内容を書いて掲示板に貼ったりとか、そういったいろいろなことが考えられると思うので参考にさせていただきたいと思います。

質問者 4

私が言ったのはね、ビブリオバトルとはちょっと違うんです。あれは1冊の本ではなくて自由に読んでやるんですね。1冊の本を、何十人が集まって、いろいろこう喋り合うというような、そういった意味でのことを話しました。

梅原室長

両方のタイプができればいいなと思います。

質問者 4

そうですね。ビブリオバトルもいいし、別なものもね。ぜひお願いします。

質問者 5

この新花巻図書館につきましては、平成18年の1月1日の1市3町による新市発足と同時に、その前か。新市建設計画というものに新しい花巻図書館の整備が明記されておりました。月日が流れまして、ちょうど今年が20年目です。やっと基本計画が策定されることになりましたが、なぜこれだけですね、時間を費やしてしまったのか、基本計画の策定がこれほど遅延したのか、その理由をお伺いします。

市川主任専門員

花巻中央図書館建設基本計画を策定したときがありました。それが、25年、今の総合花巻病院ですね。前の厚生病院のところに図書館をつくるっていう計画が平成23年に、図書館懇話会っていうみなさんに考えてもらって、提言がありまして、それで、25年に中央図書館基本計画ができたというふうに私記憶しています。建設の設計に入った段階でありましたけども、本来であればそのままできたと思いますが、厚生病院の跡地から有害物質が、26年の3月に出たと公表されまして、それでストップしまし

た。それで、ストップしまして、全部見直したんですよね。当時、もう1回見直して、結局厚生病院跡地には、総合花巻病院が移転するということになりました。それで練り直して、もう1回基本構想から作り直した。ただ、基本構想は、前の提言を踏まえた形でやってきたものということでもありますので、ちょっと時間かかりましたけども、ご理解をいただきたいと思っております。

質問者 5

わかりました。私はですね、市長が横から口を出して事態を混乱させたので遅れたのかなと思っておりましたが、それは私の感想ですから。問題はですね、先ほどお話がありました、令和12年度までに新しい図書館を合併特例債などを活用して着実に建ててもらふことだと思っております。そういうスケジュールを全体的なスケジュールを考えた場合に、現時点で、ちょっと山登りに例えれば何合目になるんでしょうか。

市川主任専門員

山登りのどこがどうかっていうのはありますけども、先ほど少しご説明したとおり、基本計画、この基本計画ができた暁には、議会に設計等の予算を承認いただければスタートっていう形になります。設計の予算を市議会に承認していただければ、もうその山登りというかスタートで、どんどん行けるというふうに考えていますけれども、今令和7年ですね。8、9、10、11、12と。先ほど申しましたけど、そうするとやっぱりそれほど時間に余裕があるわけではないなというふうに我々も考えてまして、頑張っって進めてまいりたいと考えております。

質問者 5

そんなに残された時間は多くはないと思いますので、そこに最短距離で言えば、ちょっと乱暴な言い方もかもしれませんが、横からですね、いちいち余計なことを市長が口出しをしないようにすればですね、12年度までに立派な図書館ができると思っております。

私は表紙・背表紙含めて50ページの基本計画をざざっと読みましたが、この計画のとおりですね、図書館が建てば、仮に駅前であっても病院跡地であっても、立派な図書館ができるんだろうなと思っておりますので、そこはよろしくお願ひしたいと思ひます。

そこで、運営経費については、試算の数字が基本計画の中に載っておりました。1億9,881万4000円が試算として運営経費としては記載されておりますが、建物のですね、建設予算の試算、確か36億とか39億という数字が私も記憶の中にあるんですが、もう一度確認させてください。建設にかかる予算はどれぐらいなのか、それから可能であれば、予算の中で合併特例債をどのくらい活用する見込みなのか、お願ひします。

市川主任専門員

これにつきましては、専門業者といひますか、コンサルタント会社に頼んで積算いただいたものを昨年11月15日に広報でもお示ししておりますが、駅前に建設した場合は、概算事業費として39.9億、これは土地の購入費を含めてであります、合併特例債と国からの補助を含めましてですね、市の負担額は8.4億円というふうに試算しております。

質問者 5

私が知りたいのは、合併特例債をどれくらい使うのかっていうところはわからない

んですか。

市川主任専門員 わかります。今調べますので、その他に何かあれば。

質問者 5 基本計画がようやく策定されることになりましたので、この間残念ながら図書館整備に対して関心が少しずつ薄れていったような気がしていますので、この際基本設計関係予算を多分どこかの時点で補正予算計上すると思います。ので、その際は基本計画策定記念シンポジウムをですね、開催していただきたいなと思います。本屋大賞を受賞した阿部暁子さんをぜひ講師にお招きをして講演をお願いしたいなと思います。終わります。

市川主任専門員 合併特例債は約 23.6 億を予定しております。あと阿部暁子さんは本当に素晴らしいですよ。いろいろ我々も考えたいと思っております。ご意見として承りたいと思います。ありがとうございます。

質問者 4 4 ページのですね図書館サービス網と新花巻図書館の役割とありますがありがたいことだと思ってますが、もう少し夢のある表現を追加してもらいたいなと思ってるんですが。ここには、新花巻図書館を中心として石鳥谷、大迫、東和と地域内のことしか書いていないんですが、私は石鳥谷図書館でよく県内外の資料を取り寄せています。そういった県内外から、国立国会図書館とかいろんなところに、できれば海外とか、そういうところのサービスサービス網を構築しますよというふうな夢のある表現をしてもらえないかなと。そういう仕事してもらえないかなというふうに思ってます。たった市内 4 つの図書館だけじゃなく、もっともっと広くやっていますからね。やってることをちゃんと書いていただきたいと思います。以上です。

市川主任専門員 ご意見として承ります。今もやっている相互貸借につきましては、本文の方に少し書いてると思いますけど、今いただいたように、この図で少し書けるところがあれば書きたいと思います。

梅原室長 市内の図書館サービス網のイメージなんですが、図書館だけではなく、説明の中でも触れましたけれども、小中学校や高校など学校への読書支援、今は学校によっては図書館に先生がいらっしゃって、司書が教材に関わる本とか、そういった選書のお手伝いをしてるんですけども、そういったところの連携がもっとできればということもこのイメージ図に書いてます。また、国会図書館や県立図書館との連携については、円の外のところに書いてるのですが、小さいという意味ですよ。そのサービスは引き続き継続していきたいと思います。

質問者 4 すみません、見えなかった。

質問者 1 2 回目ですみません。今パブリックコメント、計画案についても意見を集めると思うんですが、先ほど聞いたように上町の活性化の件はどうかって聞いたら、はっきりした回答は伺えなかった。駅前の商業施設の活性化じゃないと言われたんで、だったら

活性化は何かというのをはっきり、私だったら駅前の文化とか情報交流の人流の活性化という解釈してるんですけど、その辺もきちんと何の活性化かっていうのをきちんと基本方針に書いてほしいなど。平成29年の基本方針は、市民参画の手続きで決まったことだと言わないで、はっきり言って活性化について今回市民会議のそれが重要な2番目の票としているんですよ。ちゃんとそれを盛り込んでいただきたい。あくまでも29年に決めたと言わないで、もっと言えば、二、三年前の教育委員会の会議でももっと文章を簡略化して重複してるのもあるし、もっとわかりやすくしてほしいというものもあったんで今の基本計画案をもっと練り直して我々はわかりやすく理解できるようにきちんと表現をわかりやすくしてほしいんですよ。

だから、いっぱいいろんなこと書いてあってそれ全てが実現できればいいんですが、どれを優先するののかもよくわからない。きちんと簡略化して、例えばビジョンとか将来像がこうですっていう短い文言で言うなり、皆さんがわかりやすく理解できるような基本計画にしてほしいなどはお願ひしたいんですよ。これからも試案検討会議も終わりましたが、まだまだ市民の方々のアイデアとか意見も必要だと思うんでそれも閉ざさないで開いてほしいと思います。

市川主任専門員 活性化というのは市民会議の皆さんが建設場所を選ぶ上で重要と思う視点で活性化というのがあったということ。

質問者1 いや、市民の方々の意見をAIで整理したやつが活性化になってるんです。AIがね。活性化の意味が商業の活性化なのか生涯学習の活性化なのかよくわからない。

市川主任専門員 違います。場所について活性化が重要かどうかということですよ。市民会議の皆さんの意見で駅前にシンボルみたいなのが欲しいというのを書いてるんですよ。基本構想、基本計画案の中にも市街地再生を図るための核となる新しい図書館の整備が必要と書いていますし、基本方針の中でも街や市民に活力と未来をもたらす図書館を目指してとも書いています。基本構想の建設場所に関する方針でも、図書館は市街地再生に資する施設として、まち作りや都市計画とも整合したものとする必要があります。というふうに書いておりますので活性化という観点もやはり重要だと思いますし、市民会議の皆さんも立地場所を考える上で、活性化の観点が重要だと思って、それが上位に考えて、くださったと考えています。

市民会議の皆さんいろいろ自分の考えも話しながら、病院跡地の方がいいと考えていた方が駅でもいいかなって変わりましたっていう方もありましたし、逆に駅がいいと思っていただけども病院の方でもいい要素があるんじゃないかっていうふうに書いてくれる人もいます。そういう中で対話をして、皆さんの意見を聞いて会議に携わってよかったっていつてくれているのがほとんどです。そういう皆さんの意見を尊重して、市としては駅前が適切ということで計画に載せたもの。

先ほど教育委員会の件ですが、あれは教育委員会議で教育長が発言した部分ですが、基本構想については、もうその段階では市民参画、市民の皆さんからのご意見を踏まえた上で作ったものについての教育長の発言です。教育長は、職員ですので教育委員の皆さんではなく職員という立場ですので、その議事録見ればわかるんですが、感想として個人的な見解だけでも、ということでもう少し文面を整理したらいい

いんじゃないかっていうようなことを発言されたとは私は記憶しておりますので、教育長は市民の意見を踏まえたものを変えるということまでは考えてなくての発言だというふうに解釈しています。

市民の皆さんの意見を聞きながらですね、我々わかりやすく変えてきたところで、試案検討会議の中で、計画試案を考える会議を行ってきたわけですが、できるだけ皆さんの意見を踏まえて変えてきて了承を得たものでありますのでそこで計画を早く定めてですね前に進んでいきたいというふうに考えているものですのでご理解をお願いしたいと思います。

質問者 6

ちょっと細かい話なんですけども、5 ページ、(2) の中に④先人に関する図書企画展やイベント等の開催というの、こうなると先人以外の企画とかイベントはないのかなと思いますので、むしろこの図書企画展やイベントっていうのは (3) (4) などどこかに入れて独立した形にした方がいいんじゃないかなと思う。細かい話ですけども。これだと先人以外の企画展やイベントができないように思われるので、その辺考慮をお願いします。

梅原室長

最初の、2 ページのサービスの種類というところに、図書企画展や講演会、セミナーに力を入れていきますということを表記しています。そのうえで改めて収集についての郷土資料の充実というところに書いていますので、両方行うことではありますが、わかりづらいということですよ。

質問者 6

誤解されるんじゃないかと思って。独立した項目にした方が。要するに図書館では企画とかイベントをやりますという感じで表した方がいいかなと。これだと先人以外はできないように思われるかなと。

梅原室長

わかりました。ありがとうございます。

質問者 2

色んな資料を確認しました。「新花巻図書館建設候補地比較調査結果について（概要版）」のなかの 4 ページ目にあったものを見て話をしています。4 ページ目ですね。新花巻図書館の建設候補地の検討について、これまでの経緯という部分ですけれども、タイムスケジュールの下の方になりますが、2020 年の 12 月 17 日、左側から 2 項目目なんですけれども、「建設場所について駅周辺及びまなび学園周辺のいずれかとする事」「建設用地は市有地とすること」「図書館単独の整備を基本とすること」ということで特別委員会から報告があって、それが、2021 年の 4 月、右側に行って、試案検討会議においてどちらかといえば花巻駅前を希望する意見が多かったとあります。さらに 2022 年 10 月から 12 月ですか。ここに、新図書館のサービスや機能、建設候補地選定にあたり、JR 東日本と条件確認をしたい旨の市民説明会を開催と書いてあるんですけど、ここでなぜかいきなり JR が出てくるんですね。なぜ JR が出てくるんでしょうか。

市川主任専門員

最初の 2020 年 12 月 17 日の建設場所について駅周辺およびまなび学園周辺というのは先ほど少しご説明したんですけども、当時 6 ヶ所の候補地をだして、駅は JR

の所有地つまりスポーツ用品店、なはんプラザの東側の駐車場、まなび学園周辺は病院跡地と学び学園の前、体育館のところ、体育館の南側の営林署があったところ、という候補地を出したというのがこの段階です。この6か所のどれかにしてくださいというのが議会からの提言です。次の2021年の段階はJR所有地の花巻駅前ということです。ここはJR所有地の花巻駅前がいい、どちらかと言えば花巻駅前がいいという意見が多かったということです。

2020年の12月17日の議会の提言のなかで建設用地は市有地とする事とありますね、したがって候補地として試案検討会議の中では病院跡地とJRの用地と大体2か所に絞られてきたんですけども、JR所有地がいいという意見が多かったためにJRから購入する必要があるということで22年にはそのJRで売ってもらうための条件を確認したいということを含めて市民に説明したということです。

質問者 2

土地を購入するということになると思うんですけど、単純に駅周辺のいろんなプランの配置案がありますけども、タケダスポーツの建物の大きさをそのまま移動すれば南側の第1駐車場とグランシェールのところに、この建物ってすっぽり入るんですよ。あとはなはんプラザの前、第2駐車場の北側半分にも入りそうですね。花巻市が所有している土地の中に建設するということを考えると2020年の11月12日の提言の市有地とするという話に疑問はないが、市有地じゃない物を購入して、かつ、現状の建物を解体する費用まで出して、結果的にほかの市有地、現在使われていない市有地はそのまま損失になるものではないよという話でしたが、その部分がちょっと。

市川主任専門員

先ほど説明しましたが、6か所の候補地を出した時に駅前ではなはんプラザの東側の駐車場とスポーツ用品店の場所を候補地として提案して、市民の方や議会に示している。令和2年にワークショップも行っており、説明してアイデアなどもいただいていた。なはんプラザ東側の駐車場よりもスポーツ用品店の場所がいいとする意見が多かった。それはなぜかという駐車場を減らしたくないという意見が多かった。なはんプラザ東側駐車場に図書館をつくと駐車場が減ってしまうという意見があり、であればスポーツ用品店の所が良いのではないかという意見がありこのように進んできたということです。

質問者 2

駐車スペースという話をした時に建物の屋上のスペースっていうのは、今現在何になるか決まっていなと思いますけど、市民会議なんかで出てくる資料も見ましたが、あの中に太陽光を配置するとかそういうような意見もあるのかもしれないけども、全然決まっているものではなくて、例えば今おっしゃったように駐車場が足りないというのであれば、屋上を駐車場にするなど、そういう考えも出てくるのではないですかね。私自身、じゃあ、図書館の場所を今のタケダスポーツの場所から市の駐車場の場所に移せと、そんなことを私は言うつもりはないんですが、昨日の、東和町に行って、結構白熱した内容のことが出てきたものだから、果たして今度の土曜日の説明も出るかなと思って、重箱の隅をつつくような質問かもしれませんが、お願いします。

市川主任専門員

ありがとうございます。実はなはんプラザ東側駐車場に建てた場合に、下を駐車場

として2階以上を図書館にするパターンを作ってお示ししたりしましたが、駐車台数も減り事業費が高くなる、その他にも立体駐車場を作る案も示しましたが、使いづらいというご意見があり、署名などをご覧いただいても分かるかと思いますが、それで現段階では平面の駐車場にしてスポーツ用品店の場所に建てることで検討をしてきたということです。ありがとうございます。